

VERSANTは教育出版世界大手の英ピアソンが開発し、世界160カ国の企業などに採用される世界標準の英語テストです。最新のAI技術を活用し、正確で高精度な採点結果を即座に提供。データに基づく人材戦略の意思決定を支援します。日本では、2016年から日本経済新聞社が総代理店を担い、これまでに約500社の有力企業に導入していただいています。

VERSANTTM

by Pearson

Speaking & Listening Test

<https://school.nikkei.co.jp/special/versant/>

問題は
A～Fの
6つのカテゴリ、
全40問

スコアは
10～90点で
採点

テスト時間は
約20分

受験後、
約5分ほどで
結果がわかる

英語で聞かれたことを瞬時に理解し、応答する、
実践的な英語力を測定します。

テストの内容(出題数 全40問)

A 質問	8問	質問で使用された単語を使って回答することで「リスニング力」と「話し方(流暢さ・発音・わかりやすさ)」を診断
B 復唱	16問	音声で流れた文章を繰り返すことで「リスニング力」を診断
C 会話に関する質問	6問	短い会話の内容に関連する質問に答えることで「リスニング力」を診断
D 文章に関する質問	6問	ある程度の長さの話聞いて3つの質問に答えることで「リスニング力」を診断
E ストーリーリテリング (話の要約、言い換え)	2問	短い物語を聞き、30秒間で自分の意見を要約することで「リスニング力」「言葉の使い方、話の内容」「話し方(流暢さ・発音・わかりやすさ)」を診断
F 自由回答	2問	簡単な質問に対して自由に回答することで、「言葉の使い方、話の内容」「話し方(流暢さ・発音・わかりやすさ)」を診断

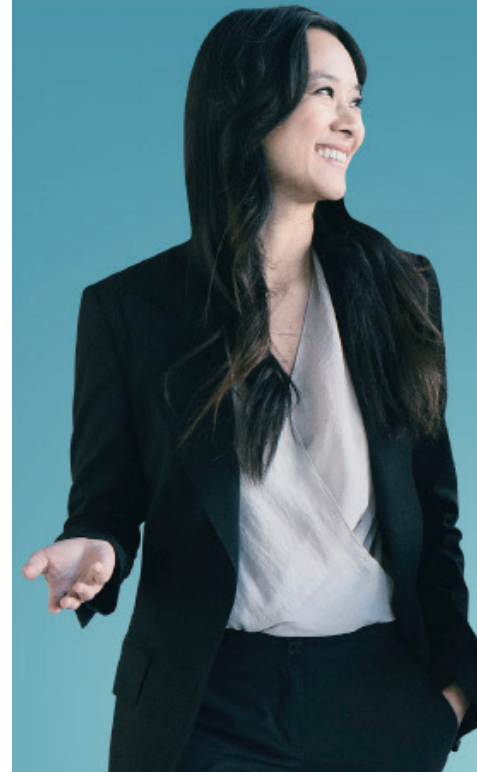
ご契約について
お問い合わせ

日本経済新聞社
ライフ & キャリアビジネス 人財・教育事業ユニット
MAIL: versant@nex.nikkei.co.jp

———— partnership ————

NIKKEI  Pearson

VERSANTTM
by Pearson



ヴァーサント
VERSANTは
本当に話せる
英語力の証明



VERSANT

日経スコア活用 BOOK

INDEX

- 総合スコアの見方 ……英語スピーキングの実力が分かる
- TOEIC L&Rとのスコア関係 ……スコア比較でより効果的な学習ができる
- スコア別 スキル向上のヒント ……「本当に話せる」英語の学習法
- (資料編) 総合スコアとシーン別英語のCan-Doリスト

日本経済新聞社

ライフ & キャリアビジネス 人財・教育事業ユニット

VERSANT 総合スコア (GSE)

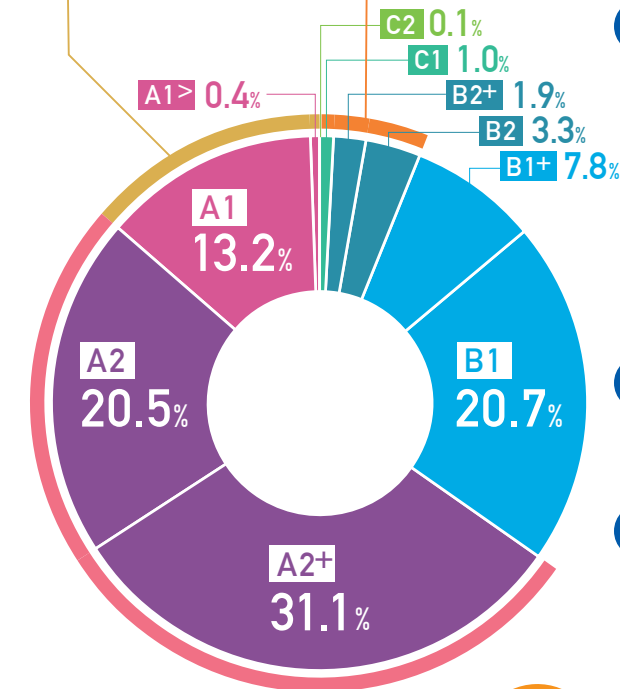
CEFR

ポイント3

単語やフレーズで会話する英語入門レベル(G 29点以下)が1割強も

ポイント1

ビジネスで英語ができる上級者(G 59点以上)は1割弱に過ぎない



76 以上
ほぼネイティブレベル

59 以上
ビジネスで英語が十分に使える上級者

52 ※日経調べ
TOEIC900点台の平均スコア

英語でビジネスするために
まず必要とされる目安

43 ※日経調べ
海外赴任目安ライン

40
日本で平均

ポイント2

「簡単な英会話に参加できる」初級者、準中級者(G 30~42)が5割程度を占める

※スコア比率は「2022日経スコアデータベース」の法人データより算出。

GSE

グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ(GSE)はピアソンが開発した世界初の「真にグローバルな英語力の指標」です。GSEは学習者の「現在の英語力で何ができるのか」を10—90まで1ポイント刻みで定義しており、CEFRよりはるかに詳細に英語スキルを把握できます。「海外でのマーケティングマネージャーに必要な英語力は?」といった、具体的な職務に応じて求められる英語力もGSEで分かります。

GSEについて詳しくは: www.pearson.com/jp/ja/global-scale-of-english.html

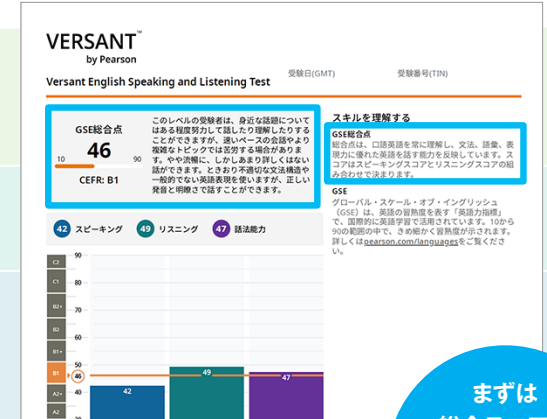
CEFR

CEFRは「欧州言語共通参照枠」のことで、言語能力を評価する世界的な指標です。その言語を使って「何がどの程度できるか」を、初心者レベルのA1からネイティブレベルのC2まで大きく6段階で分類します。

90	C2	熟練者 Fluent speaker	ほとんどの状況や複雑なトピックについて、自発的に、流暢かつ正確に話すことができる。
85			
80	C1	上級者 Advanced level	個人的、専門的、学問的な幅広い話題について、言語学的に複雑な言語を用いて流暢に話すことができる。
75			
70	B2+	準上級者 Upper-intermediate level+	具体的であれ抽象的なテーマであれ、アイデアや意見を述べ、複雑な論旨を提示したり、答えることができる。
65	B2	中上級者 Upper-intermediate level	具体的であれ抽象的であれ、広範囲な話題について詳細な情報と説明を加え、ある程度流暢に話すことができる。
60			
55	B1+	準中上級者 Intermediate level+	身近な話題から知らない話題まで、会話をリードし、維持でき、発展させることができる。
50	B1	中級者 Intermediate level	日常的な話題について話し合い、長い文章で基本的な理由や意見を述べることができる。
45			
40	A2+	準中級者 Pre-intermediate level+	日常的な話題についての簡単な会話に参加し、主要な情報を理解して知らない言葉の意味を推測することができる。
35	A2	初級者 Pre-intermediate level	日常的な話題や個人的に興味のある分野について、簡単な単語やフレーズを使って、短い文章を話すことができる。
30			
25	A1	入門レベル Beginner level	基本的な単語やフレーズを使って個人的な情報を交換でき、相手からゆっくり、はっきりと話されれば、簡単な会話をするすることができる。
20			
15	A1>	観光客レベル Tourist level	限られているが定型表現を使うことができ、ゆっくり、はっきりと話されれば、いくつかの基本的な単語やフレーズを理解することができる。
10			

GSE 学習指標 (CAN-DOリスト)

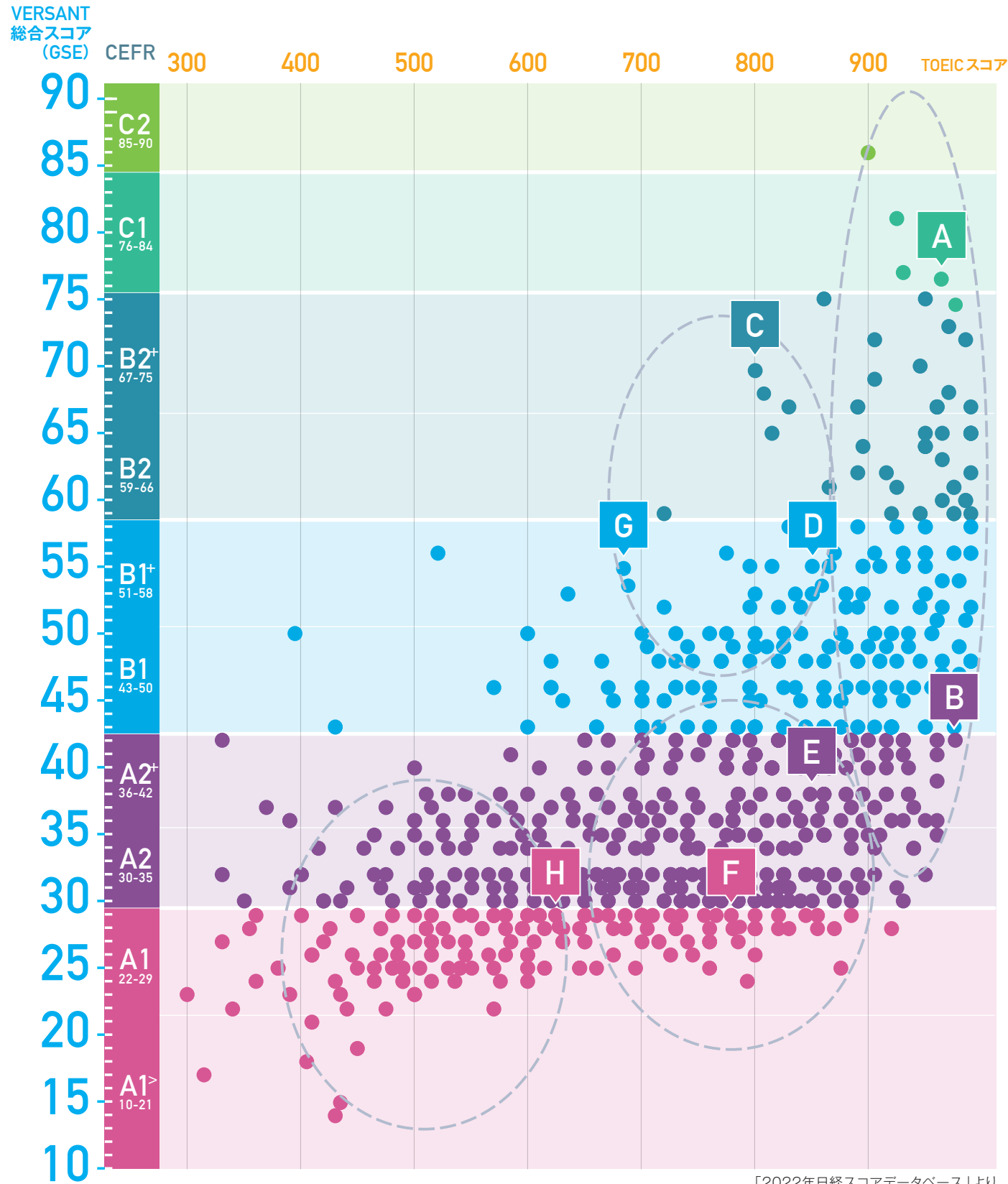
- ▶ インタビュアーの一人からの質問に対し、言葉の複雑さや回答のスタイルを各インタビュアーに合わせながら、答えることができる。(GSE85)
- ▶ 公式のプレゼンテーションにおいて、聴衆から要請された場合、複雑な図表や視覚的情報を要約することができる。(GSE76)
- ▶ プレゼンテーションにおいて、質疑応答時の質問に答えることができる。(GSE67)
- ▶ 具体的な理由や詳細(プロジェクトの完了、期日など)を示しながら、ビジネスの状況についての懸念を表明できる。(GSE66)
- ▶ 職業面接において、自分が過去の仕事で達成したことについて話すことができる。(GSE58)
- ▶ 自分が働く部門や会社における様々な仕事を説明できる。(GSE55)
- ▶ ビジネスの場で、簡単な語句を使用して、製品の特長について議論できる。(GSE49)
- ▶ 簡単なビジネス取引において、基礎的な語句を使用して価格の変更を交渉できる。(GSE47)
- ▶ 視覚的な助けを使用しながら、なじみのあるトピックについての短い話を行うことができる。(GSE44)
- ▶ 簡単に明確で適切に表現された仕事に関する留守電のメッセージを残すことができる。(GSE42)
- ▶ 日付、時刻、場所など、アポイントメントの詳細を復唱し、理解を確認できる。(GSE41)
- ▶ 従業員に対し、自分の仕事で好きなことと嫌いなことを尋ねることができる。(GSE40)
- ▶ 簡単なつなぎ語('then', 'next'など)を使用して、過去の非常に基礎的な出来事を説明できる。(GSE38)
- ▶ 企業またはクライアントと初めて接触する際に使用される短い簡単な原稿を、読み上げることができる。(GSE37)
- ▶ 簡単なやり方で、電話でくり返しや説明を求めることができる。(GSE35)
- ▶ 簡単な語句を使用して、自分の故郷や住む街について説明できる。(GSE33)
- ▶ 簡単な語句('first', 'second', 'third' など)を使用して、物事を順序立てることができる。(GSE33)
- ▶ 地図や旅程表を示しながら、簡単な道案内を行うことができる。(GSE32)
- ▶ 簡単な謝罪を行ったり、それを受け入れたりできる。(GSE31)
- ▶ 簡単な語句を使用して、自分の趣味や取り組んでいる活動を説明できる。(GSE30)
- ▶ 簡単な語句を使用して、ある個人の好きなものや嫌いなものを説明できる。(GSE28)
- ▶ 基礎的な単語を使用して、一般的な天気の状態を説明できる。(GSE28)
- ▶ いくつかの基礎的な定形表現を使用して、ホテルにチェックインできる。(GSE26)
- ▶ 限られた言い方で、飲み物や食べ物を頼むことができる。(GSE24)
- ▶ 物の価格について、基礎的な情報を与えることができる。(GSE24)
- ▶ 電話での短く簡単な会話から、相手の名前と電話番号を特定できる。(GSE23)
- ▶ 他者に名前を尋ねることができる。
- ▶ 自分がしていること(仕事の名前、学生など)を言うことができる。
- ▶ 何かの価格を尋ねることができる。



まずは
総合スコアで
自分のスピーキング
レベルを
知りましょう。

VERSANTとTOEIC L&Rとのスコア関係図

「TOEIC L&Rで800点を超えても、実際のビジネスで英語を話せない」と指摘されることも多くあります。VERSANTとTOEIC L&Rのスコア関係図を見ると、TOEIC L&R 800点以上でも英語スピーキングは苦手とする人が多いことが分かります。

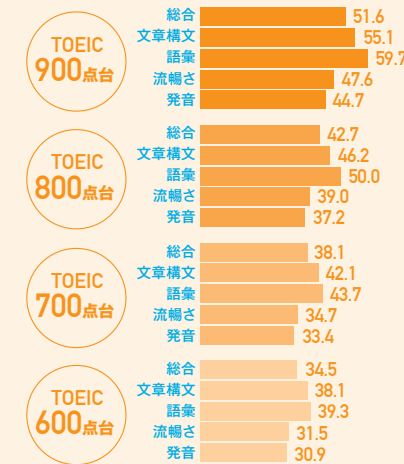


スコア比較でより効果的な学習ができる

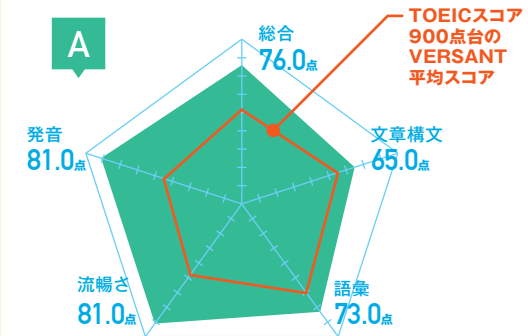
VERSANTは「本当に話せる英語力」を把握できる有効なテストです。日本企業の多くで採用されるTOEIC L&Rと併用することで、英語コミュニケーション力をより正確に知ることができます。

TOEIC L&R (以下、TOEIC) が同じスコアレンジでも課題は異なる

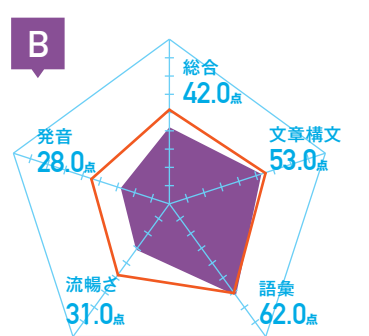
TOEICスコアごとのVERSANT平均点



TOEICスコア 900点台

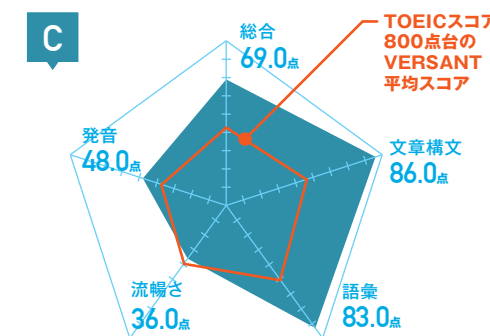


帰国子女のバイリンガルの大学生で、TOEICは980点。日本人の多くが苦手な「流暢さ」と「発音」は81点といずれもネイティブレベルにある。

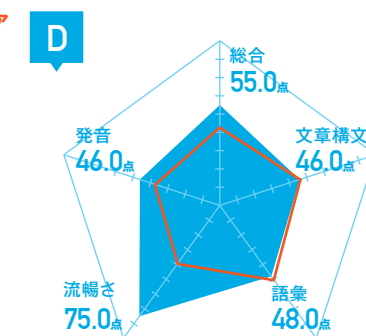


TOEICは990点だが、VERSANTの総合スコアは42点。リスニング力の「語彙」は62点と高いが、「流暢さ」は31点、「発音」は28点と苦戦している。

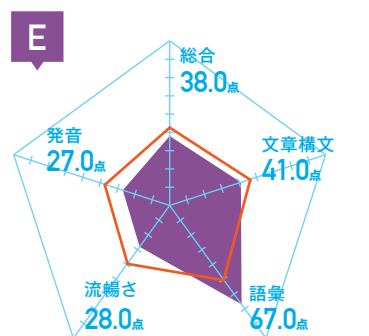
TOEICスコア 800点台



TOEICは800点。リスニング力の「語彙」がほぼ満点と非常に高い。「流暢さ」は36点で、途切れ途切れに話すレベルにある。

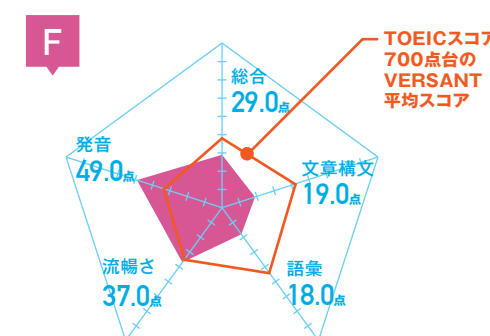


日本人が苦手とする「流暢さ」が75点と非常にポイントが高い。上級者のはずだが、本来高いはずのリスニング力の「語彙」は46点と相対的に苦手としている。



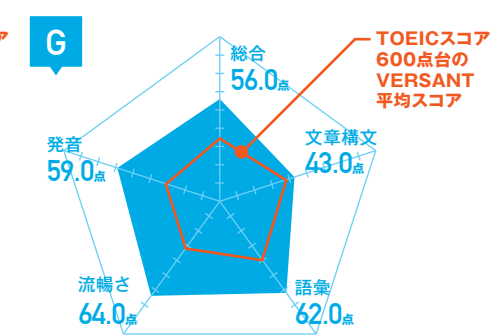
「語彙」は67点と高いが、「流暢さ」と「発音」は日本人平均を下回る。TOEIC800点台でリスニングが得意な学習者に多く見られるチャート図になっている。

TOEICスコア 700点台

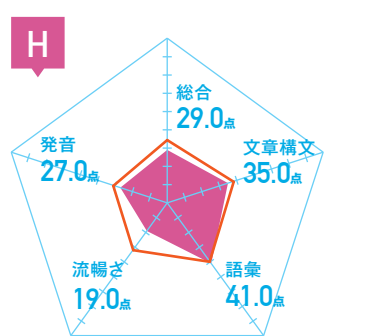


TOEICが700点台ながら、リスニング力の「語彙」が18点と低い。「流暢さ」と「発音」は日本人平均をかなり上回り、スピーキングに強い。

TOEICスコア 600点台



TOEIC600点台ながら、4スキルがいずれもハイレベル。特に「流暢さ」「発音」は日本人平均より20点以上も高い。海外ビジネスで活躍できる実力者。



TOEICは635点。大手メーカーの技術者としてかなり多くみられるチャート図。「語彙」は高いが、「流暢さ」は初級者。英会話がほぼ成り立たない。

※スコア平均点は、「2022年日経スコアデータベース」の法人データより算出。
※本資料のスコア集計には、VERSANT Speaking Testのスコアを用いました。

VERSANT
総合スコア
(GSE)

90
85
80
75
70
65
60
55
50
45
40
35
30
25
20
15
10

85-90点

C2

熟練者 Fluent speaker

ほとんどの状況や複雑なトピックについて、自発的に、流暢かつ正確に話すことができる。



- 自分の考え、願望、夢をできるだけ詳しく説明する努力をする。または抽象的な話の先には文法上の正確さを保つように努力する。
- 複数の情報源(新聞・報道番組・本など)からの情報を根拠や理由を再構築しながら理路整然と口頭で要約する練習をする。

59-75点

B2⁺

準上級者 Upper-intermediate level⁺

具体的であれ抽象的なテーマであれ、アイデアや意見を述べ、複雑な論旨を提示したり、答えることができる。



中上級者 Upper-intermediate level

具体的であれ抽象的であれ、広範囲な話題について詳細な情報と説明を加え、ある程度流暢に話すことができる。



- 演説、講義、ニュース、討論などで、得意分野だけに限らず、様々な分野の抽象的で複雑な話題を聞く。
- 難しい話題について明瞭かつ詳細に説明する練習をする。
- 感情表現、比喩、冗談など社交の場で使われる言語表現を広く使ってみる。
- 難しい長文をまとめてみる。

30-42点

A2⁺

準中級者 Pre-intermediate level⁺

具体的であれ抽象的なテーマであれ、アイデアや意見を述べ、複雑な論旨を提示したり、答えることができる。



初級者 Pre-intermediate level

日常的话题や個人的に興味のある分野について、簡単な単語やフレーズを使って、短い文章を話すことができる。



- 放送番組の内容を注意深く聞き、全体の内容と詳細を把握するように努める。
- 講義や討論を聞き、要点を把握する練習をする。
- 自分自身の体験・出来事、または伝記やフィクションに出てきた出来事を、自分の感情や反応を交えて描写、説明する練習をしてみる。
- 家族、趣味、興味、仕事、旅行や時事問題について詳細に話すように心がけ、よく使われる単語や表現を増やす努力をする。

22-29点

A1

入門レベル Beginner level

基本的な単語やフレーズを使って個人的な情報を交換でき、相手からゆっくり、はっきりと話されれば、簡単な会話を行うことができる。



- ニュースなどの放送番組を聞き、事件、事故、天気などの要点を把握しようとする。
- 友人や同僚に、自分の好きなものや嫌いなもの、仕事、趣味などを理由とともに説明してみる。
- 趣味や日課について説明したり答えたりする。毎日のやりとりに必要な単語や、自分の意見や立場を表現するのに十分な単語を増やす。
- 既に知っている単語や語句をさらに練習する。また、日々のコミュニケーションの中で出てくる新しい単語、イディオム、表現も積極的に覚えるようにする。

76-84点

C1

上級者 Advanced level

個人的、専門的、学問的な幅広い話題について、言語的に複雑な言語を用いて流暢に話すことができる。



- ニュースやラジオ番組など、ネイティブスピードで話されているものを様々な情報源から積極的に聞く。
- 複数の情報源からの情報を、論拠や理由を再構築しながら理路整然と要約する練習をする。

43-58点

B1⁺

B1

準中上級者 Intermediate level⁺

身近な話題から知らない話題まで、会話をリードし、維持でき、発展させることができる。



中級者 Intermediate level

日常的话题について話し合い、長い文章で基本的な理由や意見を述べることができる。



- テレビでニュースや時事問題を取りあげる番組を見たり、またはドキュメンタリー、インタビュー、トーク番組、演劇や映画などを見て、内容をまとめることによって、普通に話されているスピードに慣れる訓練をする。
- 自分の得意分野の話題を幅広く、はっきり詳しく説明できるように練習する。
- 文法に気をつけながらも、できるだけ瞬時にかつ自然に話をする練習をしてみる。
- 複数の要素の関連性がはっきりとわかるように様々な接続語を効率よく使えるようにする。

10-21点

A1[>]

観光客レベル Tourist level

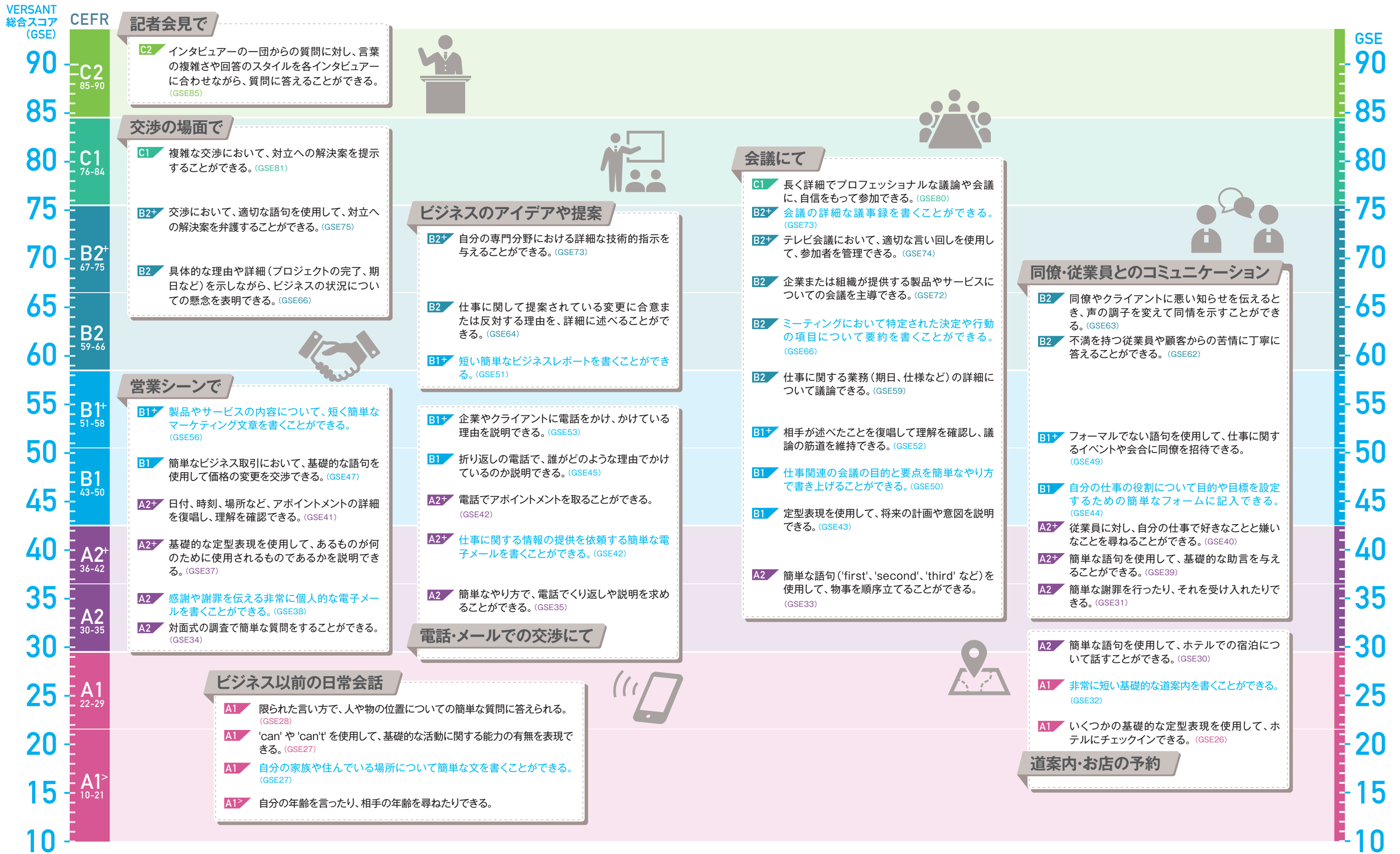
限られているが定型表現を使うことができ、ゆっくり、はっきりと話されれば、いくつかの基本的な単語やフレーズを理解することができる。



- 同級生や同僚に身近な話題や日常的事についてプレゼンテーションをし、彼らの質問に答える。また、質問が理解できない場合には、繰り返してもらおうように願う。
- 趣味や日課について質問したり、答えたりする。
- 日常的なやりとりで必要となる語彙や、自分の意見・立場を表現するのに十分な語彙を増やす。

総合スコアとシーン別英語のCan-Doリスト

VERSANTの総合スコアは世界的な英語スキルの指標であるGSE (Global Scale of English)と
 関連しており、スコアごとに英語でできることについて詳細な定義がされています。VERSANTスコア
 があれば、海外企業で仕事をする場合でも自らの英語力を示すことができます。



※青文字はライティングスキル項目

※スコアごとの説明はGSEの学習指標をもとに日本経済新聞社が要約しています。

memo